

大阪医科大学 仁泉会ニュース

仁泉会ニュース 第 45 巻 3 号

発行所 高槻市大学町 2 ノ 7
〒569- 大阪医科大学仁泉会
8686 電話 072-682-6166

FAX 072-682-6636

発行者 河野 公一
6,080 部URL <http://www.jinsenkai.net/>

平成 26 年仁泉会定期評議員会・総会開催のご案内

日時：平成 26 年 5 月 25 日(日)午後 2 時 評議員会 午後 3 時 総会 午後 5 時 懇親会
場所：母校 歴史資料館 3 階 懇親会場：母校地下食堂 高槻市大学町 2 番 7 号

平成 26 年定期総会並定期評議員会を母校にて開催いたします。

同窓生が一堂に会し、同窓会の現状を審議するのは総会のみであります。万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。次号に出欠はがき（委任状）を同封いたしますので、ご返送お願いいたします。評議員・支部長の先生方には別途評議員会のご案内をお送りいたします。

大阪医科大学仁泉会理事長 河野公一

平成 26 年 3 月号 目次

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 平成 26 年仁泉会定期評議員会・総会開催のご案内 | 1p |
| 2. 学窓 | |
| 平成 25 年度卒業証書・学位記授与式 | 2p |
| 3. 支部だより | |
| 仁泉会大阪府連新年理事会報告 | 学 25 期 中 透 … 9p |
| 仁泉会神戸支部 新年会 | 学 39 期 中本博士 … 10p |
| 4. クラス会だより | |
| 卒後 15 周年記念 47 期同窓会 | 学 47 期 藤阪保仁 … 11p |
| 5. 会員活動報告 | |
| 植木麻理先生 | 12p |
| 6. 新聞切り抜き | |
| 竹中 洋先生 | 15p |
| 7. リレーエッセイ | |
| 「赤ひげ」先生 | 学 28 期 板野 聡 … 16p |
| 8. 仁泉ひろば | |
| 医科系大学の職制 | 学 4 期 西村 保 … 18p |
| 学歌・「はた崑崙か、ゴビの原…」〈其の 2〉 | 学 9 期 渡辺信治 … 19p |
| 7 月 18 日がやってくる | 学 20 期 安藤嗣彦 … 21p |
| 9. 本部だより 支部長交代 | 24p |
| 10. 編集後記 | 24p |

学 窓

平成 25 年度 卒業証書・学位記授与式

今年の卒業式・学位記授与式は平成 26 年 3 月 7 日（金）午前 10 時より高槻現代劇場大ホールにて行なわれました。

まず、第 1 部として 63 期の医学部 95 名と学部 1 期生となる看護学部 85 名の合同卒業式が行なわれました。学長の告辞に続き、来賓代表として仁泉会河野理事長の祝辞、在校生送辞、卒業生答辞が述べられ、医学部学長賞、看護学部学長賞、学長特別賞の褒賞授与が行なわれました。

第 2 部の学位記授与式は各学部に分かれて執り行われ、医学部長が卒業生全員に卒業証書を饒の言葉とともに手渡し、式辞を述べられました。その後、教育機構長賞及び仁泉会理事長賞の表彰、恒例のスライドショーが行なわれ、滞りなく第 63 回卒業式が終了しました。

尚、今年の仁泉会理事長賞は藤井裕子さんが受賞されました。

以下にご挨拶要旨を掲載いたします。

学長告辞

大阪医科大学学長 竹中 洋

大阪医科大学医学部医学科第 63 期生 95 名並びに、看護学部看護学科第 1 期生 85 名の皆さんご卒業おめでとうございます。

います。また、ご父兄の皆様、心よりご子息、ご令嬢のご卒業をお慶び申し上げます。大阪医科大学にとりまして、卒業式は大変重要な学事でございます。関西医科大学学長山下敏夫先生始め、ご列席頂いておりますご来賓の皆様に教員並びに卒業生を代表して御礼申し上げます。

中山国際交流センターにおける学生交流事業で現在本学において研修中のタイ国マヒドン医科大学と韓国カソリック大学の学生の皆様をご紹介します。

Now, I would like to introduce our guest students of Mahidol University from Thailand and Catholic University from Korea,

Thank you for your attendance at our graduation ceremony of Osaka Medical College on this memorabl day.

平成 25 年度のこの卒業式は本学にとって歴史的な卒業式であります。1927 年の建学後一貫して単科医科大学であった大阪医科大学は、ここに看護学部第 1 期生を社会に送り出し、名実共に医療系複合大学となりました。両学部で日々研鑽を積み、無事本日を迎えられた卒業生の皆様の努力と頑張りに大学を代表して敬意を表したいと思います。

さて、卒業生の皆さんが本学で過ごされた 4 年ないし 6 年間を大学の出来事として振り返ってみたいと思います。教育についての最大の挑戦は平成 22 年 4 月の看護学部の立ち上げでした。卒業生の皆さんは両学部でクラブ活動を円滑に運営する為に変なエネルギーを使われました。又、医学部学生として 4 回生の時に西日本医学部総合体育大会を主管されました。一人の熱中症や事故もなく無

事に終了できたことは幹部学年として皆さんの誇りでもあり大学の名誉でもあります。教学体制としては新しい入学生と教員を迎え、大学協議会が設置され、両学部の重要な課題や教育の問題、具体的な学生支援の方法が月に一度話し合わせ、両学部の教授会で審議されました。病院長選挙や学長選挙並びに図書館長選挙についても見直しが行われています。医学部学生と看護学部学生が同じ視点で「学ぶ課題と学ぶ場所」を共有する医看融合教育は、教員の努力と学生の評価によって、この3年間着実に進歩をしています。数年のうちに大輪の花を咲かせる予定です。また、昨年10月には大学基準協会の再審を受けましたが、教育方法や手法についての評価は大変高く、基準に適合

しているとの評価が内定しています。

研究については両学部の研究テーマの相互確認からスタートした、研究知財の学内公開は、「研究シーズ集」の発刊まで進み、学官産連携推進の為の基盤整備が整えられました。この延長線上で医学部では経産省の課題解決型医療機器開発や独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構のヒト応用研究など公的外部資金が導入できました。看護学部でも近畿経済産業局総合特区調整費で新たな看護師の医行為を正確に行う超音波装置の研究費が獲得されています。従来の文部科学省科研費や厚労省科研費・班研究以外の新しい研究費の流れは、平成27年度からは新しい独立法人化へ立法措置が進んでいます。本学は着実にこの分野での



研究費獲得に努めています。

これらの教育や研究についての内容は、卒業生の皆さんにとっては余り興味を持っていなかったことかも知れません。しかし、本学にとって学生の皆さんが第1の宝だとすると、これらの教育的努力や研究成果は大学の評価を確実にする教職員を中心とした第2第3の宝です。大学も皆さんと一緒に成長してきたことを確認することが出来ます。

さて、卒業後は4月から医療人として新たなスタート地点に立たれます。ここで近未来の日本の医療について幾つかの基礎的データをお話したいと思います。平成24年の国立社会保障・人口問題研究所の資料によれば、本日卒業される皆さんが、医師或は看護師として将来の道

を定められるであろう10年後の2025年、我が国の人口は1億2000万人程度になると予想されています。この10年程で約800万人の人口減少が起ります。将に大阪府の90%の住民が日本から消えることを想像できますでしょうか？

大阪府ではこの間、超高齢者が約60万人増えると予想されています。高齢者医療の特性は「多くの慢性疾患を抱えた代謝能力の低い患者さん」と対面することになります。障害と言えないまでも、視力低下や難聴が常に存在し、運動制限や摂食制限も認められます。高齢者の移動範囲は限られ、家族の同意や援助も望めない環境の人達が、皆さんを頼りにされるのです。その様な少子超高齢社会はそれ以後2035年のピークまで続きます。



その時皆さんは 50 歳に近く、経験 25 年の医療人として我が国の医療を牽引されていると思います。如何なる専門分野を選ばれても、医療や福祉では超高齢者対策が課題であり問題となることは間違いありません。

再生医療が爆発的に進歩し、遺伝子医療が多く恵みをもたらしたとしても、生命体としてのヒトの寿命は 120 歳位と考えられています。インフルエンザウイルスが地球から消滅するとも考えられません。温暖化でマラリアが日本で流行するとも考えられています。食事や喫煙、飲酒等の外部因子が予防医学的に制御されても、放射線障害や紫外線障害は増加する可能性があります。事実、東日本大震災をみても汚染水すらコントロールできないことが知られています。従って、医学がそのままライフサイエンスとして発展しても、病気や老いのない世界の到来は夢であって、現実には「医療人は多くの高齢の患者さんに対応してその日を過ごす」職業であると予想されます。医看融合教育の成熟を掲げ、大阪医科大学は医学・医療の世界で新たな挑戦を続けることを卒業生の皆様と確認をしたいと思っています。皆さんは社会情勢の情報を貪欲に吸収し、本学の理念である「如何なる地域でも最良の医療人である」ことを目指して下さい。

私は、何時の時代も医療人の基本的な考え方は、「目の前の病める人達に「最新の正しい、事実に基づいた医学・看護学知識」と「それを使うことが出来る医療技術」、加えて「信頼される人格」を兼ね備え診療と看護に携ることと思っています。本学は現在、90 周年、100 周年

を目指して、附属病院の新棟建築などの事業が計画されています。卒業生の皆さんは礎を築かれた大阪医科大学に今後も大きな関心を持ち続けて下さい。最後に皆様が我が国の医学並びに看護学或は医療並びに福祉の担い手として成長を続けられることが、本学教職員の究極の願いであることを申し上げ、医学部医学科第 63 期生、看護学部看護学科第 1 期生の旅立ちに際しての学長告辞と致します。

祝 辞

一般社団法人大阪医科大学仁泉会理事長
大阪医科大学名誉教授 河野公一

第 63 期医学部学生の皆様、第 1 期看護学部学生の皆様、本日はご卒業まことにおめでとうございます。また本日ご臨席いただいております、ご両親をはじめご家族の皆様には感慨ひとしおのことと存じます。心からお慶び申し上げます。さらに本日まで卒業生の皆様をご指導され、薫陶を賜りました本学教職員並びに関係各位に対しましても、お祝いとともに厚く御礼申し上げます。

医学部卒業生の皆様は本日から、大阪医科大学仁泉会（すなわち同窓会）会員であります。本法人は 1927 年創立の大阪高等医学専門学校および大阪医科大学卒業生で構成され、医学部 63 期の皆様 95 名を新たに加えますと 9,031 名を数えます。

看護学部 1 期生の皆様には大阪医科大学卒業生として、願わくは近い将来仁泉会員と共にご活躍していただくことをご



河野公一理事長

期待申し上げます。

仁泉会の活動は会員の福利厚生を主たる目的として、情報共有のための定期的な会員名簿や会報の発行、同期会や全国・海外での支部会開催の援助、本学医学部学生への奨学金貸与、学園祭や西医体への支援、本学教員をはじめ仁泉会員が主催する全国的な学会への助成など様々な分野に及んでいます。

卒業生の皆様にはぜひその趣旨をご理解いただき、これらの活動を支えてください。

さて卒業生の皆様は、今日から大阪医科大学で学んだ医学や看護学における知識をベースに更なる研修を経て、医療・教育・研究の道を歩まれることとなりますが、その目標はただ一点にあります。それは「生の尊厳」であります。私の尊敬する先人の一人ウイリアム・オスラー博士（彼は米国ジョンズ・ホプキンス大学医学部を創設した人ですが）は患者を自身の家族と同じように心から愛し、大切にす、「人道主義の心」を医学の中

に導入した最初の医師であります。

また現在政情が不安定なことでも知られる、ウクライナで 1854 年に勃発したクリミア戦争に従軍し、敵味方分け隔てなく傷病兵の介護を行い、今日の看護制度の礎を築いた、「白衣の天使」ことフロレンス・ナイチンゲールはロンドンのセント・トマス病院に世界に先駆けて「人道・博愛・生の尊厳」を掲げて看護師養成校を創設しました。

卒業生の皆様のこれから進む道は多様であり、それぞれの場で積まれる経験や知識が新たな医学や看護学の進歩に、またこれら先人の説く「生の尊厳」につながるものと信じています。

あらためまして、卒業生の皆様の前途を祝福しますとともに、ご家族の弥栄（いやさか）をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

平成 25 年度医学部 学位記授与式

大阪医科大学医学部長 竹中 洋

医学部医学科第 63 期生の卒業生の皆様、改めてご卒業おめでとうございます。皆さんが本学に入学された後に重ねられた勉学への努力、それを支えられたご家族の皆様の尽きぬ愛情に心から敬意を表したいと思います。また、ご列席の来賓各位に本学医学部を代表して厚く御礼申し上げます。

学長としての卒業生への告辞は先の看護学部との卒業式で申し上げましたので、ここでは医学部長としてお祝いと医師の

先輩としてお願いの言葉を申し上げます。

私の趣味は読書です。ざっと年間に 100 冊程度の乱読で 50 年以上続いています。最近読み切った本の中に、文部科学省が発刊している「私たちの道徳」があります。小学校 1 - 2 年生用から、3 - 4 年生、5 - 6 年生、そして中学生用の構成になっています。

勿論「国が道徳を説くのか」については論議があることを承知しています。また、どちらかと言えば個人的には問題があるとも思っています。しかし、この道徳の教本の内容を詳細に見てみますと心に残る書物でした。

小学校 1 - 2 年生で「いのちを大切に」の章があります。そこでは「どのようなときに生きていることを感じますか?」と言う質問があり、読者は答えを求められています。皆さんはどのようなときに生きていることを実感されていますか。教材として、「生きることって素晴らしい」の項に、先日亡くなられたやなせたかしさんの「手のひらを、太陽に」が挙げられています。最初のアンパンマンは自己犠牲のキャラクターでした。

私たちの道徳 3 - 4 年生では、「生きている、一生懸命生きている」の章があり、いのちある限り生きるとして、5 年半の闘病の後なくなった小学校 4 年生宮越由貴奈さんの詩が紹介されています。院内学級で詠まれたものです。全文をご紹介できませんが、「だから、私は命が疲れたと言うまで、精いっぱい生きよう」で終わっています。私たちは精いっぱい生きているのでしょうか?

5 - 6 年生では「命を愛おしんで」の



藤井裕子さん

章があり、自分の命を見つめてみようと言う問いかけに答えなければなりません。また、かけがえのない命の項では東日本大震災に出会った田老地区の中学生の作文が紹介され、校歌に「防波堤を仰ぎ見よ、試練の津波幾度ぞ、乗り越えたてし吾が郷土、父祖の偉業や跡つかん」と唄われていたことが示されています。災害の歴史は繰り返し、また、残念ながら忘れられることが示されています。自然の脅威が多くを奪うことを忘れてはならないでしょう。このように、小学校の私たちの道徳では「市民として或は人として命の大切さ」に気づくことが主体となっています。

しかし、中学生の教本では少し変わり、多くの医学・医療に携わった偉人の言葉が引用されています。幕末に適塾を主催し、大阪蘭学の牽引者であった緒方洪庵は、「人の命を救い、人々の苦しみを和らげる以外に考えることは何も無い」と述べています。皆さんにも大変馴染み深いノーベル医学賞の山中伸也京都大学教

授の言葉をご紹介します。「医師になったからには、最後に人の役に立って死にたいと思っています」で、先の緒方洪庵と同じ臨床医の視点が色濃く示されています。また、慶応大学医学部の創始者である北里柴三郎の教えも紹介されています。「研究ばかりしては駄目だ、それがどうすれば社会に役立つか考えろ」、今流に言えば「大学の知的財産を社会還元せよ」でしょうか。

さて、皆さんは、学生時代或は今までのように命を思い、病める人たちに接してこられたでしょうか。卒業後更なる医学・医療の研鑽を積まれることを期待していますが、忘れてはならないことは、これからは患者さんお一人お一人が皆さんの教科書であり、先生です。どうぞ、患者さんやそのご家族に、尊敬の念と感謝の気持ちを持って日々の臨床や研究に精進して頂きたいと思えます。もう一つのお願ひですが、是非、本で活字を読んで下さい。読了後、何か感想を簡単な言葉で記して下さい。読書はきっと皆さんの精神と想像力を豊かにしてくれることと思えます。

命について何時も思いを馳せて頂くこと、社会に役立つ医療を心掛けて頂くことを祈念して、医学部長の医学部医学科第 63 期生を贈る言葉と致します。



第 63 回 卒業生氏名

| | | |
|-------|-------|---------|
| 青木邦江 | 足立健太郎 | 阿部 節 |
| 網岡 慶 | 在田稔章 | 飯塚 理 |
| 石谷 貴 | 井手本尚子 | 橋村(岩崎)朋 |
| 卜部馨介 | 江口大樹 | 大西 俊 |
| 岡田有紀 | 長田直祥 | 片山美里 |
| 加藤綾華 | 金岡秀晃 | 金光拓也 |
| 河合弘幸 | 河合裕美子 | 河野猛嗣 |
| 河村佑太郎 | 神部浩輔 | 近藤千沙 |
| 佐藤登朗 | 四方 宏 | 城 玲央奈 |
| 杉多嗣之 | 鈴木悠介 | 関根一臣 |
| 孫 麗香 | 高岡大介 | 高木麻衣 |
| 滝 功一郎 | 滝本かきの | 田代 温 |
| 辰巳賀泰 | 田中宏典 | 谷 賢一 |
| 田端康人 | 玉置有美子 | 爲永由貴 |
| 寺嶋 謙 | 出目 尚 | 鄧 傑之 |
| 東堂まりえ | 十倉大輔 | 中田庸介 |
| 中山小百合 | 中山奈々 | 半井絢子 |
| 長江亮太 | 名倉宏高 | 夏目大知 |
| 仁木晃大 | 西内 維 | 西村時紘 |
| 野村祐輝 | 野呂恵起 | 橋村弘毅 |
| 橋本匡彦 | 長谷川幸世 | 服部礼佳 |
| 濱口真里 | 引石惇仁 | 廣瀬仁士 |
| 枇椰雄太郎 | 藤井裕子 | 藤岡健人 |
| 藤岡慎平 | 藤澤貴信 | 藤田将司 |
| 藤田正紘 | 藤野紗和香 | 本田武史 |
| 増田裕一 | 松尾知彦 | 松本明子 |
| 三木晶森 | 光藤詩織 | 南方信久 |
| 南 景子 | 森本貴子 | 森本有姫 |
| 安岡貴之 | 安川俊樹 | 山口 歩 |
| 山崎智己 | 山田真規 | 山本果奈 |
| 山本圭以 | 横川 愛 | 吉迫祐太 |
| 渡邊 陽 | 和田将輝 | |

(以上 95 名)

支部だより

仁泉会大阪府連新年理事会報告

仁泉会大阪府連は平成 26 年 2 月 15 日（土）、帝国ホテル大阪 24 階「なだ万」にて、佐藤会長以下 7 名の参加で新年理事会を開催した。佐藤会長の挨拶で始まり、まず物故者 5 名の方への黙祷がされ、平成 26 年 2 月 8 日（土）母校新講義実習棟 4 階「特別応接室」で開かれた本部理事会の報告がされました。平成 25 年 11 月 17 日三重県支部総会の件、平成 25 年 11 月 30 日岡山県支部総会の件、平成 25 年 11 月 30 日リッツカールトン大阪で行われた「第 24 回全国私立医科大学同窓会連絡会」の件が報告事項として、

協議事項として平成 26 年度学会助成申請の件、平成 26 年 3 月 29 日愛知県支部総会の件、平成 26 年 7 月 6 日奈良県支部総会の件、平成 26 年 3 月 8 日第一ホテル東京にて行われる仁泉会関東地区懇談会の件などが報告されました。

大阪府連理事会の協議では、平成 26 年 5 月 10 日（土）ホテルグランヴィア大阪で行われる支部長会次第（案）が報告、平成 26 年度予算（案）、事業計画（案）は特に異議なく承認された。ラマダホテル大阪で行われていた理事会会場の移動の件が今後の懸案事項とされた。

理事会終了後、佐藤会長のご発声で懇親会が始まり、7 名と参加者は少なかったが楽しく話題豊富に和気藹々盛会のうちにお開きとなった。

広報担当 学 25 期 中 透



仁泉会神戸支部 新年会

平成 26 年 1 月 25 日、例年通り 1 月の最終土曜日に、三宮の中華料理「良友 (Liang You)」で開かれました。夕方から小雨が降る天気の中、例年同様の 35 名が出席されました。

まず、会長の安藤嗣彦先生の挨拶と仁泉会本部報告があり、今年は仁泉会関東支部を立ち上げ、支部総会を新橋で行いたいとお話でした。その他、初参加の先生方の紹介があり、引き続き前会長の日下孝明先生の乾杯発声で会が始まりました。

各テーブルで地元華僑の伝統的料理である名物火鍋を囲んで話が盛り上がり、そのまま自然と順次スピーチへと突入。健康問題や自院のコマーシャル等の営業も交え、相変わらずの和気あいあいぶりでした。最後に雨の玄関先で集合写真を撮影して、その後はお決まりのコー

ス (?) へと続いて行きました。

出席者 (敬称略)

| | |
|--------------|----------------|
| 渡辺信治 (学 9) | 江原英彦 (学 11) |
| 中堀秀雄 (学 11) | 藤原弘久 (学 13) |
| 福永 晶 (学 14) | 日下孝明 (学 16) |
| 佐々木義信 (学 16) | 北村純司 (学 19) |
| 安藤嗣彦 (学 20) | 川島吉永 (学 20) |
| 岩越一彦 (学 22) | 西田靖彦 (学 22) |
| 森 義孝 (学 22) | 石原一秀 (学 23) |
| 近藤敬一郎 (学 23) | 飯塚信行 (学 24) |
| 森本義康 (学 24) | 植坂俊郎 (学 27) |
| 木村純平 (学 27) | 小高正裕 (学 28) |
| 浪方典宏 (学 29) | 増井裕嗣 (学 29) |
| 森松伸一 (学 29) | 岡林孝直 (学 30) |
| 木村文敏 (学 30) | 郡山俊昭 (学 30) |
| 高井 豊 (学 30) | 米田 豊 (学 30) |
| 岡本恭行 (学 32) | 越智 豊 (学 32) |
| 波多腰正隆 (学 32) | 白 鴻成 (学 36) |
| 中本博士 (学 39) | 松本逸平 (学 42) |
| 池原伸直 (学 46) | 以上 35 名 |
| | 文責 中本博士 (学 39) |



クラス会だより

卒後 15 周年記念 47 期同窓会

2 週連続で大雪をもたらした南岸低気圧のために、飛行機や新幹線、在来線にも影響が及ぶ中、ヒルトン大阪にて、丸一みどり先生のお世話で卒後 15 周年を記念する 47 期同窓会を開催しました。

5 年前の卒後 10 周年記念の同窓会では 42 名の参加がありましたが、15 年目で果たして何人が集まるのか、連絡が取れるのかと不安ではありました。IT が発達した今日、ソーシャルネットワーク (SNS) がその威力を遺憾なく発揮し、仁泉会を通じての案内と融合して 50 名の参加を得ました。また、80 余名の先生方からの出欠の返事を得たことで同期の絆の強さを実感しました。

それぞれの立場で責任や重圧が増す中、

同期と共有できたこの時間はわずかであったかもしれませんが、卒後からの歩みを振り返り、お互いを讃え夢を語り、これからも一緒に進んで行こうと、みんなが思えた同窓会だったと思います。

参加者

明瀬光里・朝隈光弘・安倍弘和・内田亮・江富朋彦・遠藤由紀子・岡本貴子・大槻周平・大室智士・岡田 雅・奥田信昭・糟谷彰宏・金綱規夫・川崎善子・金光大石・北原直人・清野智恵子・黒田雄三・桑田すずえ・齋藤陽子・田淵雅子・田村滋規・蔡 栄美・辻 雄一郎・鄭聡柄・鄭 充康・中部奈美・西原賢太郎・納田真也・野々口直助・大原裕子・平岡やよい・藤阪保仁・藤田今日子・藤田能久・藤本陽子・堀 宏成・本庄正朋・増田大介・松井雅裕・丸一みどり・水谷卓雄・峰晴昭仁・宮田静子・向井規子・森 拓美・柳川哲司・山口敏紀・吉村静宜・渡部 久

文責 藤阪保仁 (学 47 期)



会員活動報告

平成 25 年 11 月 16 日、第 52 回神戸眼科臨床懇話会が ANA クラウンホテルにて開催され、植木麻理先生（学 40 期）が講演なさいました。その内容が神戸市医師会報 NO.630 に掲載されましたので、ご紹介いたします。

諸先生方の日々の診療の中での体験談などのご投稿をお待ち申し上げます。

事務局編集係

講演：チューブシャント手術の光と影

演者：大阪医科大学感覚機能形態医学

講座眼科学教室

講師 植木麻理先生

【講演抄録】

わが国においても 2012 年 4 月よりバルベルト緑内障インプラントによるチューブシャント手術、6 月には EX - PRESS によるチューブシャント手術が難治緑内障に対して認可された。大阪医科大学眼科では病院の倫理委員会の許可を得て通常の緑内障手術が困難と思われる複数回緑内障手術を行うも眼圧コントロールができなかった症例や硝子体術後眼、認知症があり術後濾過胞管理が困難と思われる症例、手術により中心視野消失が懸念される症例、無水晶体眼などに対し、2008 年より EX - PRESS、2010 年よりアーメド緑内障バルブを用いたチューブシャント手術を施行しており、認可された 2012 年 4 月からはバルベルト緑内障インプラントを施行、良好な成績を得ている。

しかし、その一方、今までの緑内障手術とは違う術後管理や経験しなかった合併症に悩ま



演者 植木麻理先生

れることも経験している。

本講演ではそれぞれのチューブシャント手術の手術成績および特有の術後管理、合併症について述べたい。

【講演要旨】

エクспレスシャント手術は EX - PRESS（ビスの中に穴の開いている管空）をインジェクターを用いて前房内に挿入し房水を結膜下に流出させる手術で、ミニチューブシャント手術とも言われる。エクспレスシャント手術の利点としては手術手技が比較的容易で手術時間の短縮ができること、流出路の大きさを標準化できること、過剰濾過が少ない再現性の高い手術であること、早期合併症を軽減できること、虹彩切除、線維柱帯切除が不要であることで炎症や前房出血を軽減でき比較的安全な手術が可能であることがあげられる。海外でのエビデンスでは、手術成績では長期的な眼圧下降効果は線維柱帯切除術に勝るとも劣らない術式であり、術後 1 年目の眼圧調整の成功率は線維柱帯切除術と同等である。また術式が容易なため術後視力低下からの回復は線維柱帯切除術より早く、追加処置（レーザー切糸やニードリング）と晚期合併症（房水漏出や眼内炎）は線維柱帯切除術とほぼ同等である。エクспレスシャント手術の長期成績は欧米からの報告はあるが、日本を含めたアジアからの報告はほとんどない。大阪医科大学眼科で平成 20 年 2 月以降、同一術者によりエクспレスシャント手術（MMC 併用）を施行され、2 年以上経過観察できた開放隅角緑内障 14 例 17 眼と、ほぼ同時期に同じ術者により線維柱帯切除術（MMC 併用）を施行され、

2 年以上経過観察できた開放隅角緑内障（連続症例）12例14眼を比較したところ、術翌日と一週間後ではエキスプレス手術で有意に眼圧が低くなり、その後 2 年間の眼圧は両者に有意差のない結果となった。早期の合併症では低眼圧、視力低下においてエキスプレス手術が有利であった。術後 2 年間の視力に有意差はなかった。術後処置としてレーザー切糸はエキスプレス手術が線維柱帯切除術より少ないという有意差があり、ニードリングと濾過胞再建術に有意差はなかった。術後点眼数も両群間に有意差はなかった。2 年間の術後晩期合併症は視野の悪化と房水漏出に有意差はなかった。エキスプレスシャント手術の適応は、当面は通常の線維柱帯切除術の施術は可能ではあるが EX - PRESS 使用による前房開放時間の短縮、あるいは虹彩切除の回避が従来の線維柱帯切除術よりも明らかに勝ると考えられる症例に適応を限定すべきである。EX - PRESS によるシャント手術の特に良い適応は、過剰濾過による合併症が起こりやすい症例（無硝子体眼、強度近視眼、合併症の既往がある）、眼圧変動による合併症が危惧される症例（中心視野狭窄が高度な場合）、虹彩切除による合併症が危惧される症例（抗凝固剤使用例、無水晶体眼、眼内レンズ囊外固定例）である。EX - PRESS 固有の合併症としては、50 μ m という狭い管空なので少しの前房出血やフィブリンで閉塞することが 1.7% ある。レーザー切糸や眼球マッサージなどで前房内へ EX - PRESS が落下したり、強膜菲薄化などで EX - PRESS が結膜上に露出してくる症例がある。

【エキスプレスシャント手術のまとめ】

EX - PRESS は濾過量が一定であり、早期合併症が少なく、長期成績は通常の線維柱帯切除術と同等である。術後管理は線維柱帯切除術とほぼ同等であり、needling が奏功しにくいために早期にレーザー切糸が必要ながある。また、思わぬ合併症を経験することもあり、その適応は慎重にあるべきである。

プレートを用いたチューブシャント手術はプレートとチューブからなる緑内障治療用デバイスのチューブを眼内に挿入し房水を後部のプレート周囲に流出させる術式で、ロングチューブシャント手術とも呼ばれる。プレートを用いたチュー

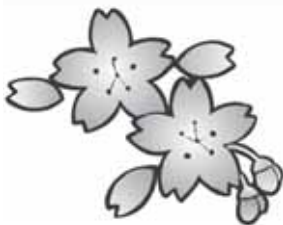
ブシャント手術の適応は線維柱帯切除術が不成功に終わった緑内障患者、手術既往により結膜の癒着化が高度な緑内障患者、線維柱帯切除術の成功が見込めない又は線維柱帯切除術において重篤な合併症が予測される緑内障患者、他の濾過手術が技術的に施行困難な緑内障患者である。緑内障ドレーナージデバイスは現在 Ahmed と Baerveldt が世界のシェアを二分している。前房挿入型と経毛様体扁平部挿入型がある。チューブが露出しないよう欧米では保存強膜でチューブを覆っているが、日本では手に入りにくいいため自己強膜で覆われている。米国の報告では 5 年間の線維柱帯切除術とチューブシャント手術の比較試験が行われ、眼圧と合併症には有意差はなく、点眼を使って眼圧がコントロール出来ていない不成功率と緑内障としての再手術率がチューブシャント手術で低く有意差があった。早期の合併症は有意にチューブ群で少ないが、晩期合併症では発生率に有意差はないとしているが、視機能に関わる合併症はチューブ群で多いのではないかと思われた。特に角膜内皮障害は問題である。それを解決するために経毛様体扁平部挿入型インプラントが開発された。これはこれまで前房挿入型で問題であった浅前房、角膜内皮損傷、虹彩癒着などの合併症を避けるように開発されたものであるが、無硝子体眼である必要がある。このことは通常の線維柱帯切除術にとってリスクファクターである硝子体手術既往眼では硝子体手術が不要であり、手術が容易であるという利点になる。米国では 94% に前房挿入型が使われているが、わが国では前房挿入型が 60%、硝子体挿入型が 40% である。Baerveldt シャント手術の良いところは結膜が癒着化している症例でも眼圧下降が得られることである。難治緑内障に対しても有効で、血管新生緑内障、無水晶体や偽水晶体緑内障、通常の緑内障手術不成功例、先天緑内障およびぶどう膜炎や epithelial downgrowth など通常の線維柱帯切除術のリスクが高い症例に有効である。米国の 2008 年調査で、線維柱帯切除術不成功例、囊外摘出術や囊内摘出術による白内障手術、全層角膜移植術後、バックル手術後、硝子体術後、ぶどう膜炎による続発緑内障で約 50% にプレートを用いたチューブシャント手術が選択された。大阪医科大学眼科で平成 25 年 5 月までに Baerveldt 緑内障インプラントによるチューブシャント手

術を施行した23例24眼（原発開放隅角緑内障6眼、血管新生緑内障6眼、続発緑内障12眼。前房挿入型4眼、経毛様体扁平部挿入型20眼）では術後6カ月で2例がPVR発症、PDRによるシリコンオイル注入にてチューブ抜去となったが、成功率（点眼使用含む）は91.7%である。視力に有意な悪化はなかった。角膜内皮数は6カ月間で有意な悪化はなかったが、前房挿入型の1例で角膜代償不全となった。大阪医科大学眼科でのAhmed緑内障チューブシャント手術16例17眼（原発開放隅角緑内障6眼、血管新生緑内障8眼、続発緑内障3眼、前房挿入型4眼、経毛様体扁平部挿入型13眼）で、術後3年までの経過観察で2例がPDRによるシリコンオイル注入にてチューブ抜去となった。1例はインプラント露出にてチューブ抜去および再挿入した。成功率（点眼使用含む）は82.4%である。3年間で視力に有意な悪化はなかった。角膜内皮数は術後1年までで有意な悪化はなかったが前房に挿入した1例で術後3カ月で50%以上減少した症例があった。

【プレートを用いたチューブシャント手術のまとめ】

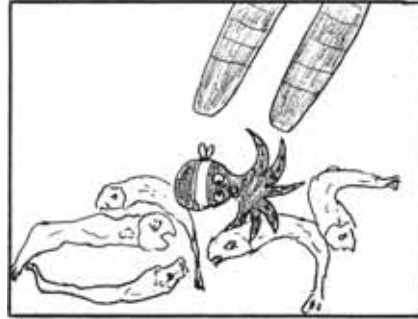
プレートを用いたチューブシャント手術は結膜が癒着化した症例において線維柱帯切除術よりも手術の成功率は高い有効な術式である。術後の低眼圧は脈絡膜出血などを発症する可能性があり、注意を要する。術後合併症の頻度は線維柱帯切除術よりも早期は少なく、難治性緑内障に対する眼圧コントロールは良好である。しかし、視機能障害に通じる角膜内皮障害や眼球運動障害などに注意を要する。

以上新しい2つの緑内障手術は緑内障患者にとって福音であろう。しかし、思わぬ合併症を引き起こすこともあり、適応は慎重に選択すべきである。



探し物

ぼん太（学31期）



新聞切り抜き

全国各地の新聞・冊子等に卒業生に関する記事が掲載されました節には、新聞・冊子等原本（印刷手続き後お返しします。）並びに原稿等を事務局宛にお送りくだされば幸甚に存じます。

2014 年 2 月 16 日（日）付け読賣新聞に掲載されました竹中 洋先生（学 23 期）の記事をご紹介します。

事務局編集係

花粉症

今年も花粉症の季節がやってきた。最近の薬は眼気などの副作用が少なくなり、症状や生活スタイルなどに合わせて、選択できるようになっている。花粉飛散のピークはまだ先だが、専門家は早めの受診、服用を呼びかけている。（阿部健）

ピーク前早めの対策

飛散少なくても

花粉が体内に入ると抗体がつくられ、鼻の粘膜の細胞にくっつく。そして、ヒスタミンやロイコトリエンという炎症を起す物質が、くしゃみや鼻水、鼻づまりを引き起こし、花粉を体外に排出させようとする。これが花粉症だ。

2つの型に大別

昨年、アレルギーの専門医らが4年ぶりに改定した花粉症などの鼻アレルギーの診療指針では、症状をくしゃみ・鼻水型」と「鼻づまり型」に大別しそれぞれ軽症・中等症・重症でそのような薬を服用すればよいかを紹介している。いずれの型も軽症の場合

軽症なら薬の効果大

★花粉症の症状に応じた薬の選択例（鼻アレルギーの診療指針より）

| 軽症 | 中等症 | 重症 | 重 |
|--|---|---|---------------------------------------|
| くしゃみや鼻水が1日5〜10回程度。鼻は一部通すが、くしゃみや鼻水がひどい。 | くしゃみや鼻水が1日10〜20回程度。鼻は一部通すが、くしゃみや鼻水がひどい。 | くしゃみや鼻水が1日20〜30回程度。鼻は一部通すが、くしゃみや鼻水がひどい。 | くしゃみや鼻水が1日30回以上。鼻はほとんど通が、くしゃみや鼻水がひどい。 |
| 抗ヒスタミン薬、ステロイド薬 | 抗ヒスタミン薬、ステロイド薬 | 抗ヒスタミン薬、ステロイド薬 | 抗ヒスタミン薬、ステロイド薬 |

この薬は眼気や口の渇き、食欲増進などの副作用が課題の炎症物質、ロイコトリエンだった。しかし、近年は改良されたものが広まり、そうした副作用は少なくなった。効果が長く続くこともあり、1日1回の服用でも済む。症状が中等症になると、くしゃみ・鼻水型では、改良された抗ヒスタミン薬が、鼻づまり型では、ロイコトリエン薬などを使い分ける。



「医師と相談し、自分にあった薬の組み合わせを見つけ、上手に花粉症のシーズンを乗り切ってほしい」と話す竹中先生（大阪府高槻市の大阪医科大学）

体質変える新薬承認

今シーズンには間に合わないが、来年以降に備えて、アレルギー体質を変えようとする新しい治療薬が今年1月に承認された。スギ花粉のエキス入りの液体薬を舌の下に滴下し、粘膜から吸収させ、体を慣れさせる。同6月以降に販売される見通

6月以降販売

アレルギー学会などの講習を受けた医師が処方する。このほかレーザーで鼻の粘膜を焼く手術などもあるが、花粉の飛散シーズンに行えば、粘膜が治癒する前に花粉で強い炎症を起す恐れもあり、竹中先生は「シーズン終了後に行った方がよい」と、アドバイ

リレー エッセイ

「赤ひげ」先生

昭和 54 年卒（学 28 期）板野 聡

私は実家が倉敷にあるため、卒業後すぐに岡山大学第一外科に入局しましたが、縁あって三重県名張市にある寺田病院で、消化器外科と消化器内視鏡を専門として勤務しています。こちらに住み始めてすでに 28 年目に入っており、すっかり三重県人になっています。さて、今回は、入学当時に父親から勧められて呼んだ本を題材にエッセイを書き起こしてみましたので、よろしくお願ひします。

お金や名誉には一瞥もくれず、さらには自らの健康や命の危険も顧みず、ひたすら目の前の患者のことを気遣い医療に邁進する医師のことを、シンボリックに「赤ひげ」と呼んでいます。また、「最近の医療崩壊が起こるまでの医療現場は、赤ひげ的精神を持つ医師達の献身によって支えられてきた」といった使われ方がされ、改めて注目されています。

この「赤ひげ」と私の出会いは、私が大阪医大に入学した頃に、父から山本周五郎氏の「赤ひげ診療譚」（新潮文庫）を勧められて読んだことに始まります。この文庫の初版は昭和 39 年 10 月発刊で、その翌年の昭和 40 年には黒沢明監督により映画「赤ひげ」が製作されており、この映画で一気に「赤ひげ」のイメージができあがったものと想像されます。

映画では、三船敏郎氏演じる医長新出

去定（ニイデキョジョウ）と、若き日の加山雄三氏が演じる医員見習い保本登を軸にして話が進んでいきます。この小石川養生所の医長である新出去定先生が「赤ひげ」と呼ばれ、当時の医政や世の中の矛盾に挑みつつ己の信じる医療を行ってゆくのですが、治せない患者を前に、「医術がもっと進めば変わってくるかもしれない、だがそれでも、その個躰のもっている生命力を凌ぐことはできないだろう」、「医術などとはいってもなさげないものだ、長い年月やっていけばいるほど、医術がなさげないものだということを感じるばかりだ」とその苦しみを吐露しています。また、「仁術どころか、医学はまだ風邪ひとつ満足に治せはしない。病因の正しい判断もつかず、ただ患者の生命力に頼って、もそもそと手さぐりをしているだけのことだ」と、医学の限界を喝破していますが、このことは今でもそのまま通じることで、作家山本周五郎氏の慧眼に驚かされることとなります。

こうした台詞の中で、私に「赤ひげ」先生の存在を強烈に印象付けた台詞があります。それは、「見た眼に効果のあらわれることより、徒労とみられることを重ねてゆくところに、人間の希望が実るのではないか。おれは徒労とみえることに自分を賭ける」というものですが、学生の頃、深くは判らぬままに憧れ、還暦を迎えた今になっても、新鮮かつ強烈に己の生き方を見直させる台詞であり続けています。そして、今度は、同業を選んだ娘たちに期待を込めて、自分が文庫本を手渡すことになっています。

ところで、「赤ひげ」先生が昨今の医

療事情を知ったとしたら、頭の固い役人相手に一暴れするのか、はたまた腑抜けの医者達を張り倒すのか、ちょっと気になるところではあります。

(次回は、医師会関係でお世話になっている伊賀市佐那具病院院長の子日光雄先輩にお願いしています。)

ご投稿のお願い

会員相互および母校とのコミュニケーションや情報交換の場として「仁泉会ニュース」を引き続き利用していただきたいと思っています。会員の先生方より本誌に対する忌憚のないご意見をいただき、同窓会の活動をさらに充実させていきたいと考えています。

下記の要領にて、多くの会員皆様からの投稿をお願いします。

記

- ☆ 支部会、クラス会、趣味の集会などの案内や報告
- ☆ 「仁泉のひろば」のコーナー：
 - * 研究論文の要約（以前に他誌に投稿された内容でも結構です）
 - * 随想、紀行、写真、絵画、俳句、短歌、川柳などの趣味や特技
 - * 紹介したい店、場所、物など
- ☆ 本誌に取り上げて欲しい話題
- ☆ 広告に関して：

字数には制限は設けません。葉書 1 枚、便箋 1 枚でも結構です。

会員自身が出される広告は現在 100 字程度まで無料です。内容は、人材募集、開業場所の紹介、医院承継、ブライダル、趣味の発表会の案内などです。詳細については事務局までお問合せ下さい。
(1 頁広告については有料の場合があります。)

送付先 〒 569-8686 大阪府高槻市大学町 2 番 7 号

大阪医科大学仁泉会 事務局 TEL 072-682-6166 FAX 072-682-6636

e-mail : jimuj@jinsenkai.net

※原稿は郵送・FAX・e-mail でご送付くださいますようお願いいたします。

事務局 編集係



仁泉ひろば

医科系大学の職制

学 4 期 西村 保

医科系に限らず長い間大学の職制は、助手、講師、助教授、教授の 4 段階のみで非常にシンプルであった。しかし最近では種々な肩書きの付いた教授が増えてきて混乱しているように思える。そこで筆者の独断と偏見により、これらの肩書きの付いた教授を分類してみた。

そもそも医科系における教授とは大学に於ける研究、教育、診療の中核にあって、学問の進歩に貢献し、医学教育と実地の診療に全責任を負う職で、講座の長である。講座制とは教授を頂点としたピラミッド型の人員構成をしており、明治初年にドイツから直輸入された制度である。

名誉教授は、教授として多年その大学に勤務し、学術、教育、さらに医学系では診療に顕著な功績のあった教授に与えられる称号である。

大学院教授とは、一般の大学においては学部の上に置かれた、より高度の専門的教育や研究を行い、学士号より上の学位である修士号、博士号の授与権を持つ教授である。ただし国立大学医学部や医科大学では正式には大学院医学研究科教授と称されている。更に阪大では優れた業績を上げた教授を特別教授と称し、年俸も世界的水準としているそうである。

診療教授とは医科系の大学のみ存在する教授で、研究、教育、診療に従事する講座を持たない教授である。これを相

撲部屋に例えると、〇〇部屋を主宰する親方が主任教授であり、診療教授は、それをサポートする部屋付き親方と云っていいであろう。そして本学では診療教授を長らく務めて功績のあった者を名誉教授と同じく功労教授の称号を与えている。

臨床教授とは、近年医学系の教育制度が改革され、学生が大学病院以外の病院で実習が出来るようになった。つまり、学生に対して卒業に必要な単位を認定することが出来る学外の教授であり、大学が委嘱する。

特命、特定、特認教授とは大学によって呼称はまちまちであるが、特に優れた能力や高度の専門的スキル、または資格を有し、大学が決める特定の事項についての教育や研究に従事する者とされている。報酬は年俸制であるが常勤職より低く設定されており、且つ契約期間が設定されている。いわば契約社員のようなものである。

特任教授とは大学との直接的な雇用関係は無く、特定の財団、研究団体、医科系なら製薬会社などからの研究費によって研究を続ける教授のことである。それで一定の成果が上がらなければ打ち切りとなる。

客員教授とは非常勤講師と同じで、給与は出講時間によって支払われる、いわばパートタイマーのようなものである。

併任教授は複数の大学に出講する教授であるが、医科系大学では殆ど見かけない。

准教授は以前に本誌で述べたので省略する。

昔は教授と云えば雲の上の存在であったが、種々の肩書きの付いた教授の出現で雲の下存在となり、ごく身近になった感じがする。

学歌・
「はた崑崙か、ゴビの原……」
〈其の 2〉

兵庫支部長 渡辺信治 (学 9)

新年号に、学歌「はた崑崙か……」と題して投稿した翌日に、12月号が届きました。其の p16 に仁泉会副理事長の安藤先生 (学 20) のリレーエッセイ・「同窓会活動の現況……」が掲載されていました。先生は「支部活動の充実」と「学歌への愛着心の養成」が重要と強調されています。

私は「さすが安藤先生！」と、うれしくなり「祝杯を挙げねばー」と三宮へ！

学歌「はた崑崙か……」〈其の 1〉に続いて、又また「若き日を惜しみー！」となってしまいました。

私の学生時代は、サッカー部活一色でしたが、学歌は常に部活の一部でした。故高山先生 (学 6)、久保田先生 (学 7) 故橋原先生 (学 8) の歴代主将方々に「イヤ」と言うほど歌わされました。

しかし「素晴らしい歌詞、曲」なので「イヤ」どころでなく、常に口ずさんでいたのです。今も「変わり無く」です。安藤先生は「校歌を歌える教育を」と強く望んでおられます。私も大賛成です。

そして私は其の上に「Voriesさんと緒方洪庵の事も御願いたい」と思っています。

私が、Vさんの事を知ったのは、あの阪神淡路大震災の一年後に、神戸支部の震災文集を作った時でした。本館ロビーの旧本館の壁画を掲載しようと写真を撮りに行き、初めてVさんの名に接したのです。



神戸支部の新年会のスナップ写真 (平成 26 年 1 月 25 日 (土) 開催)

旧本館の解体を残念に思っている私は「もっと早くVさんを知っていたら」と悔しい想いを抱いています？

緒方洪庵は、故緒方重郎先生（高19）の祖先なのです。重郎先生と中学・高医の同窓・同級生が6～7人と1年上級・同窓の萩本猛士先生（高18）の全員が御長男で「長男の甚六」の「甚六会」と名付け、また全員ラグビー部でした。私の兄の渡辺聡（高19）も其の一員で、神戸塩屋のヴォーリス建築の我家が、皆さんの溜り場でした。両親は兵庫の診療所に住んで居たからです。そんな事で、私は子供の頃から緒方先生や甚六会の諸先生方に可愛がって戴いて居たのでした。

緒方先生が洪庵の御子孫と知ったのは後々の事でしたが、西本先生（学5）が本誌上で私に掛けて戴いた御言葉の通り、

「尊敬したな！モウ！」です。

「尊敬」と言えば、先生は芸術写真の日本を代表する大家でした。

「さすがの御血統」です。

〈兵庫支部の活動の充実〉

〈総会と音楽会の開催に就いて〉

安藤先生のリレーエッセイに「後押し」された私は、神戸支部新年会の席で個別に諸先生に伺った所、やはり「兵庫支部の活動を充実すべき」との御意向が大多数である事を知りました。

慎重論も皆無では無かったのですが、極く極く少数でした。兵庫支部総会は、従前は、「数年に一度」と言われていましたが、安藤先生の「支部活動の充実」との檄と多数の方々の御意向に応じて、今年からは、毎年の開催に持って行きた



いと念じる事としました。

御理解と御協力を御願い致します。

又「活動の充実」の一つとして音楽会の開催を実現したいと考えています。之は京都支部の先例に見習うもので、8月23日（土）に企画中です。

〈Vories さん没後 50 年〉

上記の音楽会予定の 8 月 23 日（土）は「V さん展」（企画中）の会期 3 日目の土曜日なのです。この音楽会は兵庫支部の主催でその「支部活動の充実」の一貫としての開催ですが、そこで共催したいサークルがあります。

其れは「V さん没後 50 年」の今年に是非発起したいと念じているサークルです。私が以前から提唱して来たもので「V 精神・兄弟サークル」（仮称）です。学校、同窓会、企業、行政などの団体や、個人、グループ等々と、幅広いサークルで、V 展、V 音楽会、V 講演会・ツアー、懇親会、趣味の会など等を楽しみ「人生を元気に、楽しく渡ろう」との趣旨です。

また V さん没後 50 年の今年、宝塚歌劇団は設立 100 周年を祝っています。其の団員に、近江兄弟社学園の卒業生がなって居られます。そこで歌劇団員に出演を御願い出来ないかとも考えています。

これらの方々に、V さん作詞・作曲の「讚美歌 236 番」や同志社の学制歌を、また V さん愛唱の日本歌曲などの演奏を御願いしたいと考えています。

以上 私の「一若き日を惜しみ」ですが宜しく御願い致します。

7 月 18 日がやってくる

学部 20 期 安藤嗣彦

さて、私は、この 7 月 18 日で古希を迎えることとなりました。現在の高齢化社会では、70 歳はほんの通過点にしか過ぎず、何を今更とお笑いになることでしょう。しかし、私の誕生した当時の状況を考えると、いまさらながら、よく古希を迎えられたと実感する次第です。

私は、昭和 19 年 7 月 18 日に、現在の北朝鮮のロシアに近い、日本海に面した城津という町で、姉二人の末っ子の長男として生まれました。父は、京城帝国大学を卒業後、当時の小川外科に入局、医局長を経た後、この地の日本高周波工業（陸軍管理下の製鉄工場で従業員約 4000 名）の付属病院の外科医長として勤務していました。当時の北鮮は日本領で統治は整然と行われていましたが、東南アジアや南方諸島では、戦況は日本にとって、日に日に悪化の一途をたどっていました。特に南方諸島では、日本の統治領が次々と連合軍によって陥落されていきました。サイパン島も激戦の末、アメリカ軍に占領されてしまいました。

ここで、サイパン島等の南方諸島について改めて振り返ってみますと、第一次世界大戦前、青島（チンタオ）を中心とした山東半島はドイツ、大連、旅順、満州等はロシアの支配下にあり、皆さんご存知のように、香港は 99 年の借款でイギリスの統治下にありました。その後、日露戦争における日本の勝利、第一次大戦で日本がドイツより青島を奪還し支那に返還した等の功績もふまえ、日本

は、当時ドイツ領であったビスマルク諸島の赤道より北の島々を委託統治することとなったのです。この中で、一番大きく、政庁があった島がサイパン島でした。現在の若者には、サイパン島やグアム島は、手軽にいける人気の海外旅行先で、元々アメリカ領と思っている方も多く、その歴史を知る人はあまりいません。ところで、サイパン島は日本本土防衛の要であったのです。その理由は、もしアメリカ軍によってサイパン島が陥落すれば、B-29 爆撃機は日本全域の爆撃を終え、帰還できるからです。従って、サイパン島の陥落は、当時の日本国民にとって、筆舌に尽くしがたい大きな出来事であったのです。私が誕生した昭和 19 年 7 月 18 日は、奇しくもサイパン島が陥落したその日であったのです。父は、敗戦並びに死も覚悟したのでしょうか。せめて、安藤家を長男の私に継いでほしかったのでしょうか。名前を嗣彦と命名しました。

その後、皆様ご存知のように、日ソ不可侵条約破棄によるロシアの朝鮮半島への侵攻、日本の敗戦、北朝鮮政府の樹立等々と外地の邦人にとっては、苦難、恐怖の日々が始まったのです。父の病院も北朝鮮政府の管理下におかれ、ロシア軍の略奪、現地の人々の邦人への敵視も加わり、大変な苦勞があったと聞いております。私はその頃は幼く、記憶は全くありません。父は、傷病兵や引き揚げ邦人、病院職員とその家族等の付き添い医師として、命からがら引き揚げてきました。私も、2 歳ながら、姉二人に手を引かれ、小さなリュックを背負い、必死で歩いたようです。隊列より遅れると、死に直面するか、残留孤児になる恐れもあり

ました。引き揚げの途中、私は、ある日本兵のお世話になるとともにかわいがられました。彼は、陸軍中野学校とも関係のあった兵士で、シベリア送りの列車からただ一人脱走したようです。彼は、徳島の有名な古刹の住職の息子さんで、戦後、跡取りとなられた彼を、父母も私も一度訪れ、当時の思い出を語り合ったこともありました。北朝鮮からの最後の引き揚げ船（その後数年間は船は出なかった）に乗り、昭和 21 年 1 月、無事、佐世保に上陸しました。引き揚げ船で多くの方がお亡くなりになり、ご遺体を海に流し、汽笛とともに、ご冥福をいのったようです。本土を目前にして、さぞかし悔しかったことでしょう。1 月の佐世保はかなり寒いのですが、母は、厳寒の北朝鮮と比べ、‘春のよう’と言ったようです。

戦争は経験した者しか判りません。勝った者も、負けた者も、悲惨さのみが残ります。私の家内も姉、兄を、満州からの引き揚げの際、亡くしました。現在の平和のありがたさを今後も続けられるよう努力することが大切です。

父は、平成 13 年に 90 歳目前で亡くなりました。生前より多くのエッセイや業績、学術的考察を日本医事新報、同門会誌、兵庫県や神戸市の医師会雑誌に投稿しておりました。亡くなった 2 ヶ月後に 120 ページに及ぶ遺稿集を Linden baum (菩提樹) と名づけ、自費出版しました。この中に、私の誕生に関する随筆がありました。御一読いただければ幸いです。

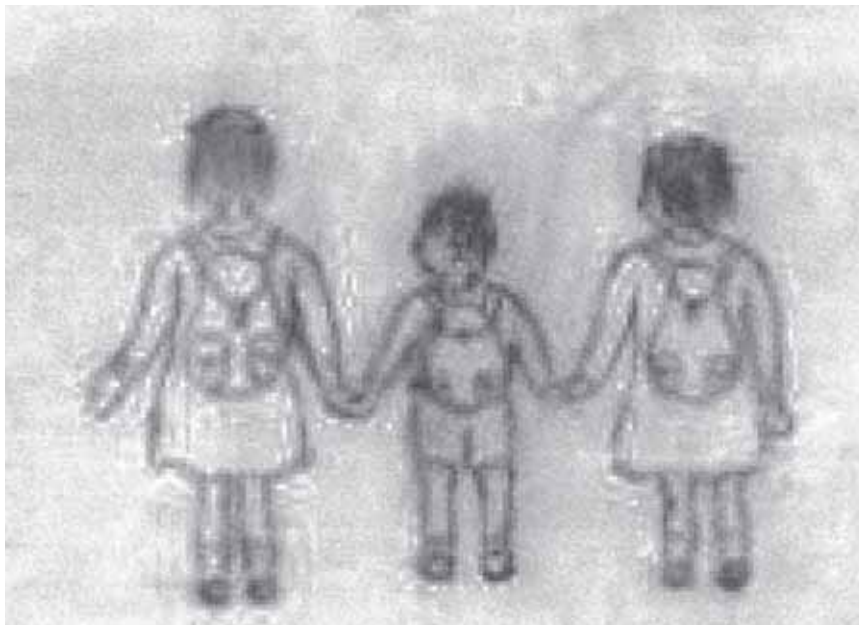
嗣彦君の誕生日と開院記念日（昭 29. 8 : 昭 63. 7）を祝して

7 月 18 日がやって来る

昭和 19 年、ちょうどこの頃私は北朝鮮の日本海海岸にある城津（じょうしん）という町の陸軍の管理下にある製鉄工場に所属する病院の外科医長として働いていた。内鮮合わせて 4000 人くらいの従業員と一日二交代で、何しろ人命よりも鉄が優先する時代で、私のところでも 3 人の医師と十数人の看護婦で、毎日 150 ~ 250 人の外科外来患者を処置するのである。ここの鉄は北朝鮮にある鉄とタンゲステン、ニッケル、モリブデン等を混ぜて造る特殊金属が主体である。しかし、もうこの頃になると、せっかくできた製品も、船の不足から野積みにされることも多かった。戦況は次第に不利で、南の島々の玉砕と名誉ある転進がつづいていた。この日の朝、私の長男が生まれた。そしてこの日、サイパン島の陥落の大本営発表があった。ここから発進する B-29 の爆撃機が日本本土を往復できるギリギリの所である。私は多分戦死するであろうと思い、長男には生き残って貰いたいという意味を含めて、つぐひこと命名した。果たしてサイパン島の飛行場と防備が完成した昭和 20 年の 3 月から、日本本土の無差別爆撃が開始された。終戦、抑留、帰国等の苦難に耐えて、家族に一人の落伍者もなく私達が平安な日々が送れる事は有り難いことである。

1990. 7. 14

注 昭 29. 8 父親の開業日
昭 63. 7 私の開業日
イラストは私の姉



本部だより

支部長交代

〔島根県支部長〕

前支部長 佐藤 充男先生



新支部長 中島 徹先生

〔阿倍野区支部長〕

前支部長 頼経 元先生



新支部長 福本 敏子先生

編集後記

今月号には、第 63 期生卒業式の模様を掲載いたしました。あらたに 95 名の同窓生が誕

生しました。このニュースが先生方のお手元に届くころには、医師国家試験の合格発表も済んでいます。小筆が受験したころは、4 月最初の土、日に試験が行われ、合否発表は 5 月中旬でした。そのため、研修開始は 6 月からと、世間一般の就職とは時期が違っておりました。試験場は近畿大学で、当日、4 月にしては気温が低く、隙間風（近畿大学の悪口ではありませんが）も入ってきて寒かったことを覚えております。試験終了後、下痢をしてしまいました。緊張していたからなのか、本当に冷えたせいなのかは今でもわかりません。それでも腹具合をものともせず、飲みにはゆきましたが。

合格した新同窓にはこれからの医師としての人生に幸多からんことを。また、残念ながら今回不合格であった同窓には捲土重来を期せんことを願っております。

(治)

医療ビルテナント募集

場所：大阪市浪速区難波中 2 丁目 3-3

3F エリア：約 40 坪

坪単価 12,000 円(要相談)

保証金 家賃の 10 ヶ月分(要相談)



クリニックビルのテナントを募集いたします。3F エリアになります。
1-2F は、内科・胃腸科
4F は、皮膚科・形成外科
5F は、婦人科
開業中
大阪難波駅すぐという好立地条件。
開業をお考えの先生方、お気軽にお問い合わせ下さい。
詳しくはお電話にて。
学 36 期 森川浩志

心療内科・眼科・耳鼻科など最適

お問い合わせ先
仁泉会事務局
TEL 072-682-6166